

伊豆市の概要

自然・歴史・文化が薫る 誇りと活力に満ちた

クロスロード
「伊豆半島の新基軸」・伊豆市

～いつまでも住み続けたい 次世代に笑顔をつなぐ礎づくり～



2025年度版

静岡県伊豆市議会

1. 市の沿革

伊 豆 市	平成 16 年 4 月 1 日合併（人口 37,869 人）
修 善 寺 町	大正 13 年 8 月 31 日町制施行により、修善寺村が修善寺町（人口 5,885 人）となる。昭和 31 年下狩野村と合併（人口 11,641 人）、昭和 34 年北狩野村と合併（人口 15,609 人）。平成 16 年 3 月 31 日閉町。
土 肥 町	昭和 12 年 4 月 1 日町制施行により、土肥村が土肥町（人口 6,766 人）となる。昭和 31 年西豆村と合併（人口 10,118 人）。平成 16 年 3 月 31 日閉町。
天城湯ヶ島町	昭和 35 年 11 月 1 日町制施行により、上狩野村・中狩野村が合併し、天城湯ヶ島町（人口 7,787 人）となる。平成 16 年 3 月 31 日閉町。
中 伊 豆 町	昭和 33 年 1 月 1 日町制施行により、上大見村・中大見村・下大見村が合併し中伊豆町（人口 8,252 人）となる。平成 16 年 3 月 31 日閉町。

2. 伊豆市の概況

①面積

363.97K m² （南北 約 20km、東西 約 25km ）
森林 82.7%、農地 4.6%、宅地 2.7%、その他 10.0%

②位置・自然

伊豆半島の中央部に位置し、豊かな自然環境に恵まれています。南側は天城山系の山並みに囲まれ、西側では青く澄んだ駿河湾に面しています。中央には天城山から発する狩野川が流れ、北部はその沖積層により形成された田方平野となって開けています。高低差も日本一深い湾・駿河湾の海底－2,500m から天城山山頂の標高 1,407m までと幅広く、海の底から山の上までの間に豊かな生態系が育まれています。

③気候

太平洋側の気候の影響から、年間を通して温暖な気候に恵まれています。年間平均気温は 15℃で、山間部などでは降水量の多いところもありますが、全体としては穏やかな気候です。

④名品・特産

わさび 椎茸 白びわ 黒米 ヤーコン 梅 など

※ H30.3.9「静岡水わさびの伝統栽培」が世界農業遺産に認定

⑤観光名所

独鈷の湯、修禪寺、虹の郷、恋人岬、土肥金山、浄蓮の滝、天城山隧道、踊子歩道
天城連山ハイキングコース、滑沢溪谷、わさび沢（世界農業遺産）、萬城の滝、旭滝、ペロ
ドルーム（日本サイクルスポーツセンター）など

※ H30.4 伊豆半島ジオパークがユネスコ世界ジオパークに認定

⑥人口・世帯数（外国人登録を含む）

人口 27,404人 世帯数 13,427世帯（令和7年4月1日現在）

⑦産業別就業人口

（令和2年国勢調査）

区 分	人口 (人)	率 (%)
総 数	13,809	100.0
第一次産業	1,006	7.29
農 業	913	6.61
林 業	67	0.49
漁 業	26	0.19
第二次産業	3,008	21.78
鉱 業	15	0.11
建設業	1,106	8.01
製造業	1,887	13.67
第三次産業	9,623	69.69
電気・ガス・熱供給・水道業	47	0.34
情報通信業	148	1.07
運輸・郵便業	526	3.81
卸売・小売業	1,764	12.77
金融・保険業	165	1.19
不動産・物品賃貸業	126	0.91
学術研究業	233	1.69
宿泊・飲食サービス業	1,902	13.77
生活関連サービス業・娯楽業	742	5.37
教育・学習支援業	512	3.71
医療・福祉	1,962	14.21
複合サービス業	182	1.32
サービス業	901	6.52
公 務	413	2.99
分 類 不 能	172	1.25

⑧観光客数

（観光商工課独自集計 単位：人）

名称 年度	観光レクリエ ーション客数	宿 泊 客 数	観光交流客数
R2	1,637,939	433,929	2,071,868
R3	1,804,611	574,314	2,378,925
R4	2,244,687	733,370	2,978,057
R5	2,744,500	761,849	3,506,349



富士山の眺望地として有名な達磨山からのパノラマ

3. 伊豆市議会の概要

(1) 議員定数及び現員

条例定数 14人 (令和6年11月1日から)

(2) 議員定数の変遷

年 月 日	定 数	内 容
平成 16. 4. 1	(22人)	4町合併による市制施行 議員数は、在任特例を適用し56人
平成 16. 10. 24	26人	第1回市議会議員選挙 任期H16.11.1~H20.10.31 (初めての一般選挙のみ、定数を26人とした)
平成 19. 9. 28		議員定数条例の制定 (次の一般選挙から、定数を20人とする)
平成 20. 4. 20		市議会議員補欠選挙により4人当選
平成 20. 10. 19	20人	第2回市議会議員選挙 任期H20.11.1~H24.10.31
平成 24. 9. 10		議員定数条例の改正 (次の一般選挙から、定数を16人とする)
平成 24. 10. 21	16人	第3回市議会議員選挙 任期H24.11.1~H28.10.31
令和 6. 7. 1		議員定数条例の改正 (次の一般選挙から、定数を14人とする)
令和 6. 11. 1	14人	第6回市議会議員選挙 任期R6.11.1~R10.10.31

(3) 会派別議員数 (令和7年4月1日現在)

政 党 会派名	自由民主党	公明党	日本共産党	無所属	計
I Z U 未来	2	1		3	6
フロンティア伊豆	3			2	5
無 会 派			1	2	3
計	5	1	1	7	14

(4) 年齢別・当選回数別議員数 (町村議会議員歴を含む) (令和6年11月1日改選)

年 齢 当選回数	40~49 歳	50~59 歳	60~69 歳	70~79 歳	80 歳以上	計
1 回			1			1
2 回			2	3		5
3 回	1		1	1		3
4 回			2	1		3
7 回					1	1
9 回				1		1
計	1	0	6	6	1	14

平均年齢 68.6 歳 最年長 80 歳 最年少 49 歳 (令和7年4月1日現在)

(5) 議長等の交替期間

議 長 2 年（議会運営規程）

副 議 長 2 年（ “ ）

(6) 常任委員会（任期2年）

名 称	定数	所 管
総務経済委員会	7 人	総合政策部、総務部、産業部、建設部、危機管理課、会計課、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、農業委員会及び固定資産評価審査委員会の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項
教育厚生委員会	7 人	市民部、健康福祉部 及び 教育部

(7) 議会運営委員会（任期2年）

委 員 数	7 人
選 出 方 法	副議長及び各常任委員長と、委員より2名を選出

(8) 協議等の場

名 称	定数	規程・任期・その他
全員協議会	14 人	市政及び議会の重要事項に関する協議又は調整を行う
議会広報委員会	6 人	常任委員会から3人選出、伊豆市議会広報委員会規程・1年

(9) 一般質問

制 限 / 発言順	人数制限なし／発言は受付順／代表質問（所信表明・施政方針）
通 告 期 限	招集告示日の翌日正午まで
発 言 時 間	1 人（会派ごと）30分以内（再質問を含む）
質 問 方 式	1 回目は登壇し一括質問又は、1 問目のみ質問する選択制、再質問以降は、自席にて一問一答とする（回数制限はなし）

(10) 質疑

通 告 期 限	発言しようとする日の前々日の正午まで
質 疑 方 法	1 回目は登壇し、一括質疑 2 回以降は、自席にて行う
発 言 回 数	3 回まで 予算関連は、2 回目から款ごとに残り 2 回ずつ可能

(11) 議員賛否

議員個々の賛否を「議会だより」やホームページで公開するほか、本会議をインターネットによりライブ配信するなど、開かれた議会を目指す。

(12) 請願・陳情の取り扱い

取 扱 及 び 審 査	・ 請願は、所管委員会に付託し、本会議最終日に採決 ・ 陳情等は、議長に直接持参したものについて議会運営委員会に諮り、市政において主要な事項と認めたものについては、その審査を所管委員会に要請する ・ 上記のうち委員会付託しないものは、写しを全議員に配布する ・ 郵送等によるものは、掲示するに止める
-------------	---

(13) 議会だより

名 称	伊豆市議会だより
発 行 回 数	年4回（必要に応じて臨時号も発行）
発行部数／配付	1回につき11,500部 / 全世帯
規 格	A4判（12ページが基本）、2色刷り（表紙カラー）

(14) 議員及び市長等の報酬

職 名	報酬月額	期末手当
議 長	360,000円	6月 100分の170 12月 100分の185 加算率 15%
副 議 長	320,000円	
委 員 長	310,000円	
議 員	300,000円	
市 長	770,000円	
副 市 長	650,000円	
教 育 長	570,000円	

(15) 議員費用弁償

実費（日当はH30.4.1に廃止）	宿泊費（甲）	宿泊費（乙）
公共交通機関費用、自家用車37円/キロ	13,100円	11,800円

(16) 政務活動費

規 約	伊豆市議会政務活動費の交付に関する条例（平成28年4月1日施行）
交 付 額	1人当たり月額 15,000円
交付対象	会派及び会派に所属しない議員
交付時期等	前期（4月から10月まで）と後期（11月から3月まで）

(17) 議会基本条例

議 決 日	平成 28 年 3 月 11 日
施 行 日	平成 28 年 4 月 1 日
主な内容	最高規範性、議会報告会の開催、請願・陳情者の意見陳述、 一問一答方式、反問権、文書質問、議員間討議

(18) 議会議員政治倫理条例（平成 25 年伊豆市条例第 15 号）

主な内容 8つの政治倫理基準を定め、市民又は議員から議員 4 人以上の紹介により、審査請求ができる。1 月以内に議員 10 人以内による審査会を設置し、政治倫理基準に違反する場合は、警告から辞職勧告までの措置を決定する。これらの内容は、議会報やホームページで公表する。

(19) 議会モニター制度（設 置 令和 4 年 2 月～）

任 期	1 年（応募資格 選挙権がある人又は議会に関心のある人）
定 数	10 名以内（現在 9 名）
主な活動	議会モニター会議（年 3 回程度）、議会運営・議会広報に対する意見提出、提出意見や回答内容の公表による情報共有等

(20) 議会事務局職員

局 長（1） 一 次 長（1） 総務スタッフ（2）・会計年度職員（1）
※監査委員事務局兼務

(21) 伊豆市の県内位置図



4. 令和7年度当初予算

一般会計予算

(歳入)

(単位：千円)

区分 財源・款別		令和7年度 予 算 額	構成比
自主財源	市 税	4,236,518	19.6
	分担金及び負担金	112,670	0.5
	使用料及び手数料	184,313	0.9
	財 産 収 入	70,903	0.3
	寄 付 金	1,515,002	7.0
	繰 入 金	1,927,349	8.9
	繰 越 金	500,000	2.4
	諸 収 入	307,518	1.4
	小 計	8,854,273	41.0
依存財源	地 方 議 与 税	266,500	1.2
	利子割交付金	1,800	0.0
	配当割交付金	34,000	0.2
	株式譲渡所得割 交 付 金	56,000	0.3
	法人事業税交付金	75,000	0.3
	地方消費税交付金	801,000	3.7
	ゴルフ場利用税 交 付 金	123,000	0.6
	環境性能割交付金	34,000	0.2
	地方特例交付金	15,500	0.1
	地 方 交 付 税	6,063,500	28.1
	交通安全対策 特 別 交 付 金	5,000	0.0
	国 庫 支 出 金	2,427,611	11.3
	県 支 出 金	1,195,616	5.5
	市 債	1,609,200	7.5
	小 計	12,707,727	59.0
合 計		21,562,000	100.0

財政構造等（令和5年度決算）

財政力指数	0.44
経常収支比率	88.0%
実質公債費比率	6.4%
将来負担比率	46.0%

(歳出)

(単位：千円)

区分 款別	令和7年度 予 算 額	構成比
議 会 費	132,798	0.6
総 務 費	3,917,912	18.2
民 生 費	5,311,242	24.6
衛 生 費	1,650,894	7.7
労 働 費	15,191	0.0
農 林 水 産 業 費	542,109	2.5
商 工 費	794,086	3.7
土 木 費	2,221,693	10.3
消 防 費	1,787,721	8.3
教 育 費	1,851,540	8.6
災 害 復 旧 費	34	0.0
公 債 費	2,246,500	10.4
諸 支 出 金	1,060,280	4.9
予 備 費	30,000	0.2
合 計	21,562,000	100.0

特別会計・企業会計予算

(単位：千円)

会 計 名	令和6年度 予 算 額
公共用地取得特別会計	15,131
国民健康保険特別会計	3,804,000
後期高齢者医療特別会計	636,000
介護保険特別会計	3,806,600
水道事業会計※	1,034,764
下水道事業会計※	1,498,448
財産区特別会計（7財産区）	4,740

※実質予算額＝収益の支出－減価償却費＋資本の支出

5. 令和7年度一般会計当初予算 重点事業

区分			新規	拡充	事業名	予算額 (千円)	担当課	No.
基本方針	重点目標	政策						
本格的な人口減少社会に向けた戦略的対応	人口減少抑制戦略	1 少子化対策と次代を担う人材の育成	結婚から子育てまで切れ目のない支援	●	【出会い・結婚】出会い・婚活支援事業	4,791	企画財政課	1
					【妊娠・出産】出産準備金支給事業	8,000	子育て支援課	2
					【子育て】伊豆っ子未来応援金支給事業	19,050	子育て支援課	3
				●	【子育て】子育て施設環境整備事業	33,994	子育て支援課	4
			教育の充実	●	中伊豆小学校移転事業	229,300	学校教育課	5
				●	学びの探究向上事業	8,256	学校教育課	6
				●	GIGAスクール推進事業	233,500	学校教育課	7
				●	放課後児童クラブ拡充事業	9,575	学校教育課	8
		2 安全で心地よい生活環境の創出	福祉・医療の充実		2025年デフリンピック事業	3,237	社会福祉課 他	9
					带状疱疹ワクチン接種事業	7,800	健康長寿課	10
					時間外小児医療確保補助金	7,550	健康長寿課	11
			安全・安心なまちづくりの推進		ひなた公園整備事業	413,193	都市計画課	12
					危機管理センター整備事業	871,590	危機管理課	13
				●	津波避難訓練事業	5,500	危機管理課	14
				●	災害廃棄物仮置場対応訓練事業	1,618	環境衛生課	15
		3 産業力の強化	地域産業の活性化		観光推進基本計画策定事業	8,640	観光商工課	16
					宿泊業経営力基盤強化事業費補助金	4,000	観光商工課	17
					ふるさと観光地魅力化事業	61,300	観光商工課	18
			豊富な水産資源の活用	●	森林環境譲与税活用事業	69,500	農林水産課	19
				●	地域おこし協力隊推進事業	132,036	地域づくり課 他	20
	人口減少適応	4 暮らしの向上	人の流れを呼び込むまちづくりの実現	●	移住定住促進事業	71,638	地域づくり課	21
				●	ビレッジブライド研修事業	5,600	総務課	22
				●	おかえりプロジェクト事業	506	地域づくり課	23
					学校給食地元栽培米活用事業	3,304	学校教育課	24
		5 魅力あふれるまちづくりの確保	未来を切り拓くためのまちづくり		修善寺駅周辺・修善寺温泉地区まちづくり検討事業	10,000	都市計画課	25
					ひなた公園整備事業(再掲)	413,193	都市計画課	—
			地域力の向上		地域公共交通推進事業	133,798	地域づくり課	26
				●	中学生バス乗り放題事業	63,440	学校教育課	27
	将来にわたる行政財政運営の安定	6 将来にわたる安定的な行政財政運営の堅持	安定した歳入の確保		収納対策強化事業	8,701	税務課	28
					ふるさと納税促進事業	743,825	企画財政課	29
			徹底した歳出の抑制		旧八岳小学校解体改修事業	135,500	資産経営課	30
				●	基幹システム標準化事業	324,019	地域づくり課 他	31

6. 行政機構

伊豆市役所組織 (令和7年度) 令和7年4月1日現在



